

RFL News Letter

配布先: 全国 RFLJ 実行委員 発行: 日本対がん協会 RFL チーム



新型コロナウイルス感染拡大が続くなか、まずは皆さんとそのご家族、ご友人が変わりなく過ごされることを強く願ってやみません。この感染は言うまでもなく各地 RFL の活動にも大きく影響しています。5月以降8月までに関しては、下記の会場で予定されていたイベントが、残念ながら中止もしくは延期となりました。(4/17 現在)

5 月	9~10	東美濃	中止	6 月	20~21	八戸	中止
	9~10	くまもと	中止			20~21	千葉
	16~17	中津	延期(9月予定)	7 月	4日~5日	秋田 とまこまい	中止 延期
	16~17	かがわ高松	中止				
	23~24	わかやま	延期				
	23~24	宮崎	中止	8 月		福島	中止
	30~31	東京御茶ノ水	延期(10月予定)				

イベント開催に向けてご尽力いただいていた実行委員会の皆さんにとっては苦渋の決断であり、参加を楽しみにされていた方にとっては残念な年になりました。しかしながら、最も大切なのは皆さんの、そして参加者の命です。ご英断を尊重しエールを送ります。収束の日の復活に向け希望‘HOPE’を繋げましょう。

日本対がん協会は、この緊急事態宣言を受け、基本的にはすべてのスタッフが在宅勤務となりました。がん相談は回数を減らし、曜日を限定して運営を続けています。RFL だけでなく他の事業のイベントや研修会なども中止となり正直先行きは不透明です。コロナウイルスが猛威を振るっている中、不安な気持ちを抱えながら、しかしながら復活に向け日々の仕事に取り組んでいます。それは、皆さんと気持ちは同じくして「こんな時であれ、がんに罹患する方や日々病と向き合う方への支援を継続したい」という強い想いによるものです。リレー・フォー・ライフのミッションである ‘Save Lives’ は、いつの時代もどんな時も変わりません。Celebrate Remember Fight Back の三つのテーマは、いつの日も我々の胸の内にあります。

3密がご法度の非常事態に、「私たちは実行委員の皆さんと一緒に何ができるか」RFL 担当だけでなく協会職員も交えて議論しました。屋外での活動や、実際に人と接する事なくして何ができるのでしょうか。

まずは、リスクがないオンライン上の活動です。アメリカではネット上の空想 RFL を開催しています。リアルなハイタッチやハグはできませんが、同じ空間で話したり一緒に歩いたりできます。そのまま利用するにはいくつかの問題があるので、日本版を開設ができないか交渉中です。

世界のリレーヤーからは学ぶことが多々あります。例えば南アフリカの RFL ライセンシーである CANSA は、4/7 から「バトンリレー・オンラインチャレンジ」を始めました。ウォークの代わりに、個人がお気に入りのエクセサイズを 100 回繰り返し、その後 1) オンライン寄付をして 2) 仮想たすきを次のチームメンバーにつなぐ。そしてその画像・映像を SNS で拡散し輪を広げています。

日本対がん協会の RFL チームは海外の良き例を学び、更にオリジナルグッズの通信販売やクラウドファンディングを検討しています。また既にご支援いただいている企業の皆さんに対する新たなアプローチや、新規のご支援依頼に向けて動きはじめました。また、SNS を使った広報活動を充実してまいります。

具体的な形をお見せできるよう現在急ピッチで進めています。

まずは RFL の広報活動です。それぞれの実行委員会の HP の更新などはもちろん、個人でも SNS を利用されている方は、この機会に改めて RFL の活動を知っていただく広報をお願いします。協会記事のシェアやリツイートは大歓迎です。また、その際にはぜひ、ご自身が「なぜこの活動に関わっているのか」などをご友人にお話してください。想いに共感される方はたくさんいらっしゃいます。Facebook や Twitter、ルミナリエの写真などを使って Instagram などでも発信していただけると幸いです。我々もそのツールと仕掛けを現在思案中であり、随時サポートに回ります。

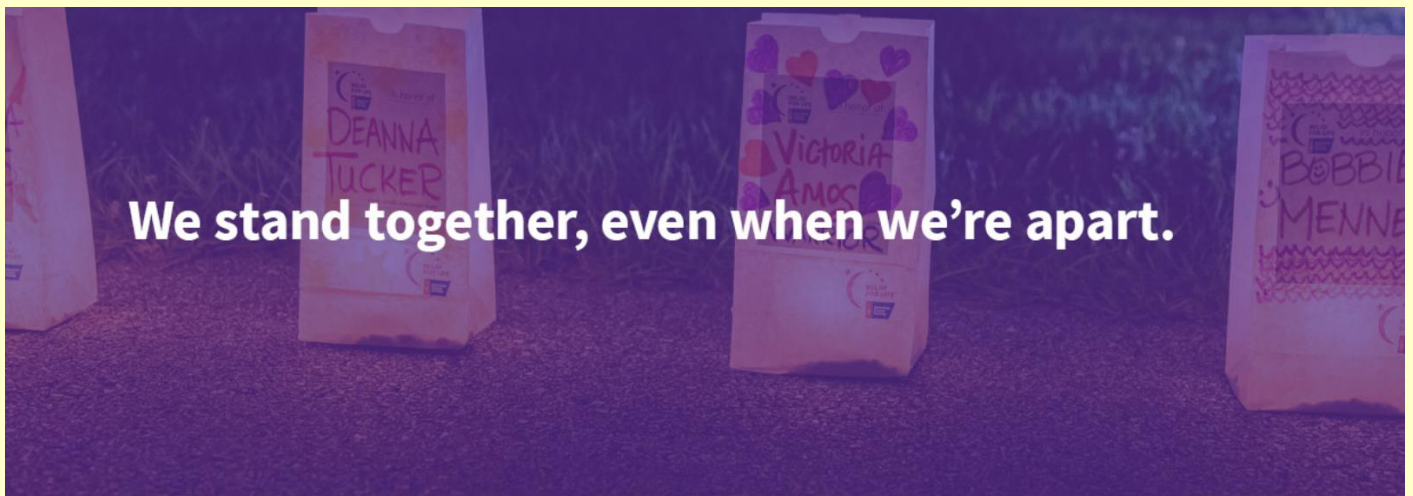
二つ目はオンライン寄付の活用です。現在多くの実行委員会のホームページよりオンラインでの寄付（クレジットカード決済）を受け付けています。これは日本対がん協会に直接寄付が入金される仕組みとなっています。実行委員会へそのキャッシュが実際に渡ることはありませんが、年間の活動の収支決算に振替えられます。寄付者のメリットは、一定の金額からは寄付控除の対象となること。また郵便局や銀行に行かなくても PC やスマートフォンからのご寄付ができるので便利です。今年からは、寄付者の方の同意があればその方のお名前等を寄付先の実行委員会にもお伝えすることが可能となりました。ご自宅にしながら寄付ができて寄付控除になるこのオンライン寄付をぜひこの機会に進めていただけないでしょうか。

この二つは、実行委員会メンバーとチーム参加の皆さんにもぜひお伝えください。チームの皆さんも志を同じくする仲間です。必ずやご賛同いただけることと思います。オンライン寄付について、またホームページについてご不明な点などは、担当者までご連絡ください。

オンライン寄付：<https://jcancer.secure.force.com/RFLForm?uid=a010K00001gTwpO&typ=rfl>

我々日本対がん協会 RFL スタッフは、常に皆さんからのアイデアをお待ちしています。我々リレーヤーが集う方法、サバイバーに寄り添う方法、寄付を募る方法・・・ひょっとして類似したアイデアと一緒に話し合うことによって、より早く効率的に具現化できるかもしれません。現場に近い実行委員さんならでこそ、ここ一番に発揮できるパワーがあります。

協会担当者、もしくは rfl@jcancer.jp まで、遠慮なくあなたのアイデアをご連絡ください。お待ちしております。



Our mission matters more than ever. The needs of people facing cancer continue and so does the work of the American Cancer Society. During this difficult time, cancer won't stop...and neither will we.

たとえ一時的に離れていても想いは一緒です。共に'Save Lives'を胸に、がんで苦しむ人悲しむ人がいない世の中を目指し、この難局を一緒に乗り越えていきましょう。

以上

日本対がん協会 リレーフォーライフスタッフ一同